

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

| 事務事業コード | 事務事業名 | 担当課 | 担当係名 | 所属長(課長等)名 | 担当係長名 |
|----------------|------------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------|-------------------|
| 23111 | 介護保険事務 | 保健福祉課 | 高齢福祉係 | 一ノ瀬元広 | 高倉健一郎 |
| | | 一次評価年月日 | 平成 26 年 6 月 13 日 | 連絡先(内線) | 2122 |
| 事務事業実施の根拠・位置づけ | 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) | 会計区分 | | 予算コード | 事業名(歳出予算見積書) |
| | | <input type="checkbox"/> 一般 | <input checked="" type="checkbox"/> 特別 | 8010 | サービス給付等諸費 |
| | <input type="checkbox"/> 一般 | <input type="checkbox"/> 特別 | | #N/A | |
| | 第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ | 章 | (コード選択) | 2章 | 支え合いとやすらぎのまちづくり |
| | | 節 | (コード選択) | 3節 | 健やかな暮らしを守る社会保障の充実 |
| | | 項[基本施策] | (コード選択) | 1項 | 介護保険制度の充実 |
| 目[主な施策] | | (コード選択) | 1目 | 介護保険制度の適正な運営 | |
| 関連する計画等への位置づけ | <input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 | <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 | <input type="checkbox"/> 主要業務報告 | <input type="checkbox"/> その他 | |
| 事務期間 | (開始) 12 年度 ~ (終了予定) 年度 | <input type="checkbox"/> 開始時期不明 | <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし | | |

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

介護認定で要支援、要介護と認定された方を主に、65歳以上(40歳以上で特定疾病により介護サービスを受けることができる者も含む)の高齢者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

1人ひとりの能力に応じた自立した日常生活を送れるようにする

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

| | |
|---|---------------------------|
| 1 | 介護を必要とする方の介護認定 |
| 2 | 介護サービスを必要とする方へのサービス提供及び給付 |
| 3 | |
| 4 | |

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | |
|----|-----|-------------------------|------|---|-----|-----------|---------|-------|
| | | 24年度 | 25年度 | 27年度(見込み) | 達成率 | 27年度(見込み) | 年度(見込み) | |
| ① | 指標名 | 要支援・要介護認定者数 | | 949 | 996 | 1,040 | 0.96 | 1,040 |
| | 説明 | 認定者数の合算 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 第5期辰野町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見込み予想人数 | | | | |
| ② | 指標名 | 2次予防事業対象者数 | | 1,042 | 924 | 1,100 | 0.84 | 1,100 |
| | 説明 | 生活機能評価により要支援等の状況に近い者の人数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 延べ人数と高齢者増加率による推計 | | | | |

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | | |
|----|-----|-------------------------|------|---|-------|-----------|---------|-------|
| | | 24年度 | 25年度 | 27年度(見込み) | 達成率 | 27年度(見込み) | 年度(見込み) | |
| ① | 指標名 | 居宅介護サービス受給者数 | | 6,968 | 7,401 | 7,400 | 1.00 | 7,400 |
| | 説明 | 年間の介護予防給付者 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 第5期辰野町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見込み予想人数 | | | | |
| ② | 指標名 | 2次予防事業対象定数 | | 1,042 | 924 | 1,100 | 0.84 | 1,100 |
| | 説明 | 生活機能評価により特定高齢者と認定した者の人数 | | 算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 延べ人数と高齢者増加率による推計 | | | | |

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

| | | | | | | | | |
|--|------|--|----------------|----------------|-----------------------------|--|--|---------|
| ○総事業費(コスト概算) =①+② | (千円) | 平成23年度 決算 | 平成24年度 決算 | 平成25年度 決算 | 平成26年度 見込み | | | |
| 対前年比 | % | | 108.2 | 100.4 | 109.1 | | | |
| A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など) | (千円) | 1,377,597 | 1,497,971 | 1,495,431 | 1,627,672 | | | |
| B)一般財源(税金) | (千円) | 234,972 | 247,043 | 256,698 | 284,468 | | | |
| ①事業費 | (千円) | 1,599,528 | 1,732,110 | 1,739,574 | 1,899,635 | | | |
| 対前年比 | % | | 108.3 | 100.4 | 109.2 | | | |
| ②人件費の概算 | (千円) | 13,041 | 12,904 | 12,555 | 12,505 | | | |
| 対前年比 | % | | 99 | 97.3 | 99.6 | | | |
| | | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 | | | |
| | | H24 H25 H26 | H24 H25 H26 | H24 H25 H26 | H24 H25 H26 | | | |
| 町職員(正規職員) | | 0.12 0.08 0.08 0.00 0.00 0.00 0.79 0.78 0.78 | 0.94 0.93 0.93 | 1.84 1.80 1.80 | 13,041 12,904 12,555 12,505 | | | |
| 臨時職員 | | 人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート) | | | | | | 0 0 0 0 |

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

| 視点 | 項目別評価 | 判定 | 評価結果 | | |
|-----|-------------------------------------|----|--|--------------------------|--|
| 妥当性 | 1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか | A | A 増加傾向にある C 減少傾向にある | B 変化していない D かなり減少している | 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 高齢者実態調査により把握 |
| | 2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか | A | A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる | | B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない |
| | 3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか | A | A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある | | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| | 4. 目的(意図)の設定は妥当ですか | A | A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある | | Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 有効性 | 5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度) | B | A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない | | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 効率性 | 6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて) | C | A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない | | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください |
| | 7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか | B | A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり | | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| 公平性 | 8. 受益者負担は適切ですか | B | A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり | | C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください |
| その他 | 9. 民間企業・住民団体との協働の可能性 | C | A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中 | | A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください |

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

| | |
|---|--|
| (誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。) | 26年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし |
| 介護保険制度及び介護保険料の周知 (パンフレットの配布) | [反映内容] |

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

| | |
|---|---|
| A | A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください |
| | 介護保険料の賦課と介護費用の給付 |

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

| | |
|--|---|
| (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) | 上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック |
| 介護保険認定者の生活支援や介護予防は重要な施策であるが、平成29年度以降大幅に改正される見通しである。国の施策をよく把握するとともに辰野町の将来を見据えた第6期介護保険事業計画を策定する。 | <input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小 |

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択